

# 村の将来に提案を



## 子どもたちが

## 活発に質問・提案

1/13

## 第9回子ども議会

9回目を迎えた「子ども議会」が役場議場で開かれ、村内3小学校の6年生が村の課題や今後の取り組みなどについて質問・提案しました。

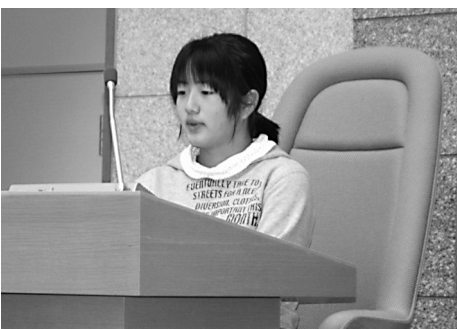
これは、子どもたちに模擬議会を通して村の議会や行政が、村民生活の安定や向上にどのように関わっているか、理解を深めてもらおうと、村教育研究会（竹之下道子会長・飯樋小学校長）が毎年行っています。

議会は一般質問の形式で進められ、各小学校の代表から出された質問に、村長はじめ各課長がそれぞれ答弁しました。

子ども議員からは、答弁に対する再質問が次々と出されるなど、活発に議論が交わされました。

最後に、各小学校から今後の村づくりに関する施策として3つの案が提案され、それぞれ賛成多数で承認されました。

議長を務めた白石小学校の岡部海音さんは、議会後「言葉や言い方が難しくなったけれど、そんなに緊張せずに進行できました。貴重な経験ができて良かったです」と感想を話していました。



▲議長を務めた岡部海音さん（白石小）

## 《質問と答弁》

飯樋小学校

高橋 杏奈

### 地球温暖化について



**質問** 地球温暖化という問題について、村として取り組んでいる活動についてお伺いします。

また、私たちに協力できることがあれば教えてください。

**答（村長）** 村では、地球温暖化をできるだけ抑えるために、各家庭のごみをリサイクルできる分と焼却炉での燃やすごみをきちんと分け、ごみを減らすことや電気やガス・水道などの使用量を節約するなど、住民の皆さん



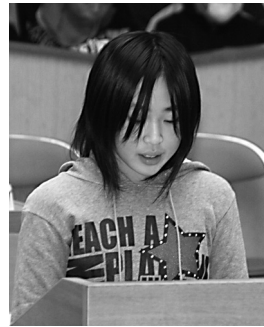
▲真剣にメモをとる子どもたち

にご協力を願っています。皆さんにご協力いただきたいことは、①使わない電気は消しておく、テレビも見ないときは消しておく、②ノートや学用品は最後まで、ままでに使う。③車の運転中、止まっているときにはエンジンをかけっぱなしにしないよう、お家の人に話をするなどです。こうした一人一人の小さな実行が、地球温暖化を防ぐためになりますので、身近に取り組めることから進めてほしいと願っています。

飯樋小学校

神野 夢佳

税金の使い方について



**質問** 最近租税教室で、税金について学習し、税金の大切さについて知りました。そこで、飯館村では、どのような優先順位で税金を使っているのかお伺いします。

**答(住民課長)** 税金の使い方については、一定程度約束ごとがあり、どうしても必要な経費がありますので、その分を除いた全ての経費をどう使うのかを毎年多くの議論を行い決定しています。

毎年の優先順位は決まっていますが、基本的には、村民の安全を守るため、健康や教育に関

することなど、有効に住民サービスが図られるか、充分に検討して毎年決定しています。

白石小学校

高橋 僚太

子どもの数が減ってきている理由について



**質問** 全国的に子どもの人口が減ってきているという現状は、大人が安心して子どもを産み、育てるという環境が作れていないことが原因なのではないでしょうか。

そこで、村としての少子化対策についてお伺いします。併せて、今後の小学校合併などについてのお考えをお伺いします。

**答(村長)** 小学校の児童

数は、平成10年に570人だったものが平成20年には342人と、10年間で228人も減り、生まれてくる数も平成10年に年間59人だったのが、平成19年には42人と17人も少なくなっています。子どもの数が減ってきているのは、職場環境や経済的な理由で、安心して子どもを産み育てる環境にないことが大きな原因のように思われます。

村は、しっかりと子育て支援をして、安心して暮らせる村を目指しています。

村内で使用できる「いたてまでい子育てクーポン事業」や小学校卒業まで医療費が無料化した「乳幼児医療費助成事業」



▲答弁する菅野村長

子どもの一時預かりを行う「までいな子育て保健室」、健診を15回助成する「妊婦健診助成事業」など、さまざまな形で子供を産み育てる支援をしています。

また、小学校の統合について、今のところ統合する考えはありません。

白石小学校

林 澤

除雪と道路の設備について



**質問** 除雪した雪が、歩道に寄せられ、登下校で歩きづらい思いをしたり、登下校で、信号機や横断歩道などが少ないために、危険を感じることもあります。

歩道の除雪対策や国道・

県道・村道の除雪の基準、及び信号機や横断歩道やカーブミラーなどの設備を増やし、歩行者の安全を守る対策についてお伺いします。

**答（産業振興課長）** 除雪は、国道や県道は福島県が、村と同じように除雪や凍結防止をしています。

村では、村道236路線（約260km）を管理しています。

一番先に除雪するスクールバスの路線等を一次除雪路線として、57路線（約100km）につ



▲質問や答弁に聞いている子どもたち

いては、雪が15cm以上積もった時に除雪します。さらに、雪が30cm以上積もった時は、二次除雪路線として、130路線（約110km）を除雪します。

また、吹雪で吹溜りができたとときも同じように除雪しています。

除雪作業は、夜明け前から作業を始めて、できるだけ朝の7時前には作業を終えるように、たくさんの方が一生懸命努力をしています。

次に、信号機や横断歩道、カーブミラーなどの設備を増やして歩行者の安全を守る対策についてですが、村では、福島県公安委員会や地元交通安全関係者と協議をしながら歩行者の安全を守るため、歩道をつくったり、カーブミラーを設置したりしています。これからも計画的に施設の設置を行います。

草野小学校

佐藤 美咲

**ごみ問題について**



**質問** 他の地区に比べて、飯館村のごみ袋の値段が高いと聞いたことがあります。見た目にはあまり違いはないように思いますが、ごみ袋の値段が高いのには何か理由があるのかお伺いします。

**答（村長）** 村のごみ袋の値段は、確かによその市や町に比べると、高くなっている場合があります。

現在、村の指定ごみ袋は、燃やすごみ及び燃やさないごみとも、大きい袋で1枚50円で販売しています。

村では、ごみ袋の製造原価との差額を、少して



▲提案を採決する子ども議員たち

も捨てるごみを減らそうと頑張っている、資源回収団体に還元しています。その他は、皆さんの家庭から出るごみを処理するために使っています。

### 草野小学校

木幡 朋花

### 村の老人ホームについて



**質問** 村には老人ホームができ、たくさんのお老人が暮らしていますが、予約でいっぱいですがなかなか入れないということがありました。

高齢化社会がどんどん進むと言われていますが、他の地区と比べ、村のお年寄りの人数に対する老人ホームの収容人数の割合は高いのか低いのかと、入れないでいることへの

今後の対策をお伺いします。

### 答（健康福祉課長）

いいアイデアですね。入所できる定員は、現在100人で、4月からは現在建設中の30人分が増え、130人が入所出来る施設となります。

現在のいいアイデア入所者は80人。この内、村内は62人、村外が18人です。村内の入所割合は77・5%と高い割合となっています。さらに、入所を待っている方は81人です。この内、村内の方は59人です。

今後の対策ですが、現在、増設工事を行っていますので、4月からは入所を待っている81人のうち、約半数は入所できる見込みです。

次に他の地区に比べての収容割合ですが、飯館村の収容割合は6・4%です。南相馬市は3・6%、その他、相馬市、新地町

をみても南相馬市と同じ率です。飯館村は近隣の市とか町に比べても収容割合の高いことがお分かりいただけると思います。

※紙面の都合上、内容は要約してあります。

### 提 案

#### 飯館小学校

原田万貴子



### 図書館の建設について

私たちの村には、村営の本屋さん「ほんの森」が「いたて」があります。

また、築5年目を迎えた飯館小学校の図書館も、子どもたちが楽しく本を読めるようになっていま

す。そこでさらに、みんなが集まって、学び、話せる夢の図書館を建設してほしいと考えています。

### 白石小学校

武藤 琢朗



### 企業誘致と失業対策について

最近、景気の悪化という話題が新聞やテレビなどで多く報道されています。村の人口は、約5000人位ですが、村内で、会社に勤め働いている人、村外に勤めに出かけている人などさまざまだと思います。

村には、土地もあるし水もあります。大きな会社を村に作ってくれる企業をたくさん募集し、働く場所を確保し、若い人の割合を増やしていくこ

とが、村を豊かにしていくと思います。村に会社を増やし、働く場所を増やすことを提案します。

### 草野小学校

菅野 結佳



### 牛と触れ合える牧場を

「飯館牛」という名前も、すっかり有名になってきたのではないかと思います。さらに有名にするために、飯館牛と触れあえる牧場を作ってはどうか。

そこで、飯館牛のおいしさだけでなく、安全性や「までい」に育てている様子などを伝え、他の市町村から、たくさんの方がやってきてきたらいいのではないかと考えます。